

第2回磐田市子ども憲章制定委員会 会議録

開催日時 : 平成26年11月11日(火) 9:30~11:45
出席者 : 委員12名
事務局 : 5名

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

(1) 磐田市子ども憲章(案)について

子ども憲章(案)について事務局より説明

(2) 意見交換

子ども憲章(理念)に対する思いについて3グループに分かれて意見交換

(3) 発表

Aグループ

- ・あいさつは、そこだけで終わってしまう、どう指導するかが重要。
あいさつができれば元気になるし、笑顔になる。
- ・難しいことでは、子どもに受け入れられない。注目される理念にするためには、シンプルで的を得たもの、単純化したものがよい。
- ・心の健康と体の健康が一緒になればたくましさに繋がる。
- ・学校の教育目標に多い自立や共生は行動指針でよい。理念は土台であり、人の心のありよう、不変的なものをやさしい言葉で表現する方がよい。

【成長への土台】

- ・理念は10年続くが、少子化、家族関係など状況は変わっていく(格差など)
- ・共生という考えが大切
- ・笑顔が出る、思いやりが大切

【話を聴く】

- ・憲章は守れるものがよい
- ・大人はりっぱなことを言ってもできていないと子どもは思っている
- ・子どもは話を聴いてほしい、声をかけてくれればうれしい

【明日が楽しみ】【未来に向かって今を一生懸命生きる】

- ・生きる楽しみを持てるかが重要、子どもは楽しくないと言う、救ってもらおうと楽しいと言う、結局楽しみがないと明日に進めない

- ・根本的にあたり前だけど大切なことを入れていく（ありがとう、ごめんなさい）
- ・憲章は難しくなくてよい、前に向かっていくもの、今自分ができることがよい
- ・憲章は合言葉のようなものでもよい

Bグループ

【大人も含めた理念】

- ・思いやり（協調性、他者を認める）が大切
- ・自己肯定、自尊心、自信（ほめる、認めてあげる、子どもに寄り添う）が夢と希望に繋がる
- ・地域ぐるみの子育て（地域とのかかわりを持つ）が重要
- ・チャレンジ精神
- ・次へ伝えていく
- ・判断と行動（ルールを守る）
- ・生きていくうえでベースとなるものを入れていく
- ・郷土愛を持ってほしい

Cグループ

- ・先祖からのつながりと現在の家族・地域との関係の交わったところに自分の存在がある
- ・伝統、文化、歴史が根っこ（支え）になって、自立につながっていく
- ・「こども憲章」であるが、伝えいことは大人への指針でもある

(4) 行動指針（案）について説明

行動指針（案）について、事務局で30件位を選定し、次回の制定委員会で報告したい。最終的には、市民投票を行いその結果を踏まえて決定したい。

4. 事務連絡

第3回の会議を12月24日（水）に予定している。この時にこども憲章の事務局案を提示させていただき、ご意見を伺いたい。また、30件位に絞った行動指針（案）も報告させていただく。

5. 閉会